

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年 3月 1日

事業所名 スタジオそら上野毛

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	7	0	狭くならないように、事前に時間配分や部屋の使い方を療育士間で話し合い、スペースを有効活用しています。	安全管理の面からも小部屋での活動を取り入れていきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	7	0	最低人員にプラスして加配をつけています。過度の負担がない配置ができています。均等に担当する様割り振っています。	人員配置としては適当な人数のため、職員のスキルアップなどを積極的に行って参ります。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	使用用途ごとに部屋が明確に分けられており、子どもが活動を把握しやすくしています。余分なものはなく、使用するものの場所に写真や目印があります。荷物棚に番号を貼ったり、手洗いや準備の動線など構造化しています。	構造化されていますが防音防振対策のための、段差があります。引き続き安全管理に留意しながら活動を行っています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	7	0	日々昼夜の清掃、消毒を行い、月に1回クレンジングを実施しています。構造化や視覚補助を行っています。	引き続き清掃、消毒を徹底してまいります。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	7	0	全職員が取り組むことができています。毎月スタジオとしても目標を設定し振り返ることができています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	7	0	年に1度実施し、HP上で公表しています。またご意見をたくさんいただけるように呼びかけや掲示を行いました。評価表だけではなく、フィードバック時など平日頃から意向を聞き、改善に努めています。	今後も継続していきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	年に1度実施し、HP上で公表しています。	今後も継続していきます。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	第三者評価ではありませんが、行政による実地検査がありました。社内でチェック機能を作り、定期的に評価できるような体制を作っています。	外部評価は実施していませんが、引き続き社内のチェックを定期的に行ってまいります。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	多岐にわたる研修を定期的に行っています。全職員会議を適宜行っています。	職場の研修は行っていますが、外部での研修参加が少ないため、療育スキルを学ぶ機会を増やしていきます。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	発達段階にあったアセスメントを行い、保護者からのヒアリングや職員間の会議を基に支援計画を立てています。アセスメントの際は、複数スタッフが参加し、客観的に観察するようにしています。半年に一度見直しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	標準化されたスタジオそらアセスメントを活用しています。年齢に応じたアセスメントツールを活用することで子どもの状況を客観的に図ることができています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1	保護者へのフィードバックなどを通して支援を行なっています。チームで話し合っています。	地域支援については感染症蔓延防止もあり、実施ができませんでした。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	毎日打合せにて支援計画を確認し、沿った内容の確認をしています。活動後も終礼内や提供記録の確認などを行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	立案自体は個人が多いですが、共有の際プログラムの相談も行っています。また同じ担当が続かないよう考慮しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	前回の内容を確認し、各スタッフが創意工夫してプログラムを立てています。同じ支援計画でも様々な遊びやアプローチを組み込んでいます。	引き続き、支援の充実を図ります。

関係機関や保護者との連携	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	1	子どもの状況に応じて個別での課題や集団での課題に考慮した支援計画を作成しています。小集団活動への参加が多いお子様は、個別と集団どちらでも対応できる支援計画の作成ができています。また集団での困りごとを計画に反映させています。	集団活動のクラスが少ないため、組み合わせるとまでは行きませんが、必要に応じて集団クラスをお勧めしています。今後もニーズを共有し、状況に合わせた支援ができるよう工夫していきます。
	⑭	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	支援開始前に打ち合わせを必ず行っています。その際前回担当したスタッフや出勤していたスタッフが情報を共有し、プログラム案を出しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	必ず終礼で支援内容やお子様の様子について振り返りを行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	毎回詳細な支援記録を作成しています。他者が見てもわかりやすい内容での記載を心がけ、職員間でチェックする体制が取れており、改善に努めています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	半年に一度モニタリングを行っています。スタッフ間で話し合い、その都度内容の改善を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	感染症対策のため機会は多くはありませんでしたが、保護者からの要望など機会がある場合にはそのように行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑲	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2	電話でのモニタリングなど相談支援事業所や他事業所と連携が取れています。必要に応じて相談支援事業所や他事業所と連携しています。	まだ連携を取れていない機関もあるので、連絡会で繋がりを深めるなど関係を深めていけるよう工夫していきます。
	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	7	現在対象者は利用していません。	特にありません。□
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	7	現在対象者は利用していません。	特にありません。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	適宜保護者から相談を受け、関係機関との連携を図っています。数は多くないですが、見学し助言をするなど、連携している園もあります。	引き続き、支援の充実を図ります。□
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	適宜保護者から相談を受け、関係機関との連携を図っています。必要に応じて就学支援シートや利用状況報告書を記載し提出しています。	引き続き、支援の充実を図ります。□
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	助言や研修は行っていませんが、モニタリングの機会に情報共有を行っています。保護者を通じて連携を取ることができています。	助言や研修の機会は少なかったですが、必要に応じて参加してまいります。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7	交流の機会はありませんでしたが、利用状況報告書や保育園見学、先生方への助言などは行っています。	毎年行っていたそらコンサートの開催が感染症対策のため、実施することができませんでした。感染症等の状況を踏まえながら必要に応じて検討していきます。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	7	感染症対策のため、子ども部会の実施がありませんでした。	感染症等の状況を踏まえながら必要に応じて参加していきます。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	毎回療育後のフィードバックや、面談、ヒアリングなどを通して共通理解を深めています。	フィードバック時間が短いため不十分に感じることもあります。面談など別途時間を設けられればと思いますので、必要に応じてお声がけくださいませ。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	4	プログラムとしてのペアレントトレーニングは未実施ですが、保護者への助言や面談などは適宜行っています。	事業所内で相談していただいた際に、提案できるような知識を増やすよう努めていきます。
㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	入会契約時に説明しています。	今度も丁寧な説明を心掛けていきます。	
㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	入会契約時に説明し、更新時も面談の時間を作り適切に行っています。保護者の同意を必ず得てから計画をスタートさせています。	引き続き、支援の充実を図ります。	

保護者への説明責任等	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	保護者から要望がある際は迅速に対応できるようにしています。 また状況に応じてこちらから面談を提案することもあります。	保護者からの相談の受付を定期的には行っており、希望に即して随時行っています。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7	そらでは実施はありませんが、外部で行われているもの掲示や周知はしています。 待合室で保護者同士のコミュニケーションをとることはあります。 個人的に就学についてなど話す場を設けることもありました。	保護者のニーズを聞き取り、必要に応じて検討致します。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	常に子どもや保護者とコミュニケーションの機会を設け、相談等あった場合には迅速に面談、情報共有等の対応を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	定期的に会報（そら通信）を発行、発信しています。	引き続きHP上でもそら通信やスタジオ情報の充実に努めます。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	集団時にお子様の名前を言わないことや個人情報をお子様の持ち物に持ち込まないようなども注意し、お互いに確認し合っています。 個人情報のあるものは鍵付き書庫にて保管し、鍵自体もキーボックスにて二重ロックしています。	引き続き、十分注意して参ります。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	フィードバックは母子分離をし、内容が子どもに伝わらないよう、負担のないよう配慮行っています。 内容や言葉遣いに気を遣っています。 担当のお子様ではなくても活動前後にコミュニケーションを取り、その内容を職員共有しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6	行事の招待は行っていませんが、同じ建物の方と消火器訓練を実施したり、お買い物イベントで地域のコンビニにご協力いただくなど、去年より開かれた事業を行いました。あおそら療育は地域の公園で行っています。	感染症蔓延防止のため、大きな行事としては実施がありませんでした。 感染症等の状況を踏まえながら検討していきます。
非常時の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	定期的に訓練やマニュアルの読み合わせを行い、スタッフの理解を深めています。保護者待合室にもマニュアルを置き、保護者周知も図っています。	机上訓練やマニュアルの読み合わせは行っていますが、実地訓練が少ないので、引き続き支援の充実を図ります。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	実際の場面を想定と、利用者参加の訓練を実施しています。今年から玉川小学校への避難を取り入れました。	学校が遠いため実際の引き渡し訓練は未実施です。想定した訓練は職員間で実施しました。引き続き、支援の充実を図ります。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	入会時フェイスシートにて確認し、該当する方には書類を記入して頂いています。記入後にも変更があった際確認や追記をしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	6	基本的に食事提供はなく、水やお茶以外活動中の飲食の機会はありませんが、イベントなどおやつがある場合は、個別に保護者への確認を行っています。 アレルギーの有無については入会時にフェイスシートにてお伺いし、事前に把握しています。	機会がある場合は注意喚起を行ってまいります。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	毎日の終礼での確認し、その内容をまとめた事例集を作成し確認しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	定期的な研修を実施しています。 事業所全体の担当者が外部研修にも参加し、スタッフに共有することが出来ています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	虐待防止研修時に確認しています。 実際には該当児いらっしゃいません。	引き続き、支援の充実を図ります。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。